

基本方針

スカウト仲間だけでなく、地域の仲間と共にスカウト活動の楽しさを広げていこう！

重点目標

- 1 団の支援体制を推進し、団機能の充実を図る。
- 2 スカウト運動の基本をしっかりと実践する。
- 3 外に向けてスカウト運動の使命、目標をアピールする。
- 4 第59回京都キャンポリーの実施に向けて準備を推進する。
- 5 京都連盟創立100周年(2015年)へ向けての準備を推進する。

	内 容	評価・反省
指導者養成	<ul style="list-style-type: none"> ・団・隊指導者がスカウト運動の基本を理解するためにもボーイスカウト講習会・研修所・実修所への参加を関連委員会と連携し推進を図る。 	<p>講習会は7回予定されていたが6回の開設実施にとどまった。延べ参加人数は115名、全体的に参加人数が少なく人数不足により開設できなかった講習会があったことは大変残念である。今後、開設回数についても委員会内におい議論が必要と考える。研修所については2コース実施することが出来た。延べ参加人数は42名であった。講習会・研修所等案内の方法については京都連盟HP掲載、地区委員会を通しての案内を続けているが必要な情報が必要な人に届いているのか疑問に思われる。指導者養成委員会としては新たな情報伝達手段として京都連盟指導者養成委員会独自のHPを立ち上げタイムリーな情報の発信を図る必要があると考える。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・団への支援体制強化を図るため、定型外訓練の企画・実施支援を図る。 	<p>県連盟コミッショナー指導の元、各地区において定形外訓練が実施されている。各地区指導者養成委員会が支援に当たっている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部団体が開催する研修への参加推進を図る。 	<p>京都連盟指導者養成委員会HPを通じて情報を発信する。現在準備中。委員会においては発信される情報収集の手段を検討中。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当団委員の資質の向上を図る。 	<p>継続検討中。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・新訓練体系への移行の準備期間という認識に立って定型・定型外訓練開設方法についてトレーニングチームと連携して検証を図る。 	<p>平成23年10月16日日本連盟より新指導者養成訓練体系第4次案の説明を受けた。京都連盟コミッショナーチームより次年度は試行コースを実施するよう要望があり試行コースを実施することとした。 平成24年1月に2コース実施する。運営面においては情報が少なく、予算、補助金(京都連盟・日本連盟)等について詳しい情報収集を行う。トレーニングチームについてはタスクチームを作り平成25年度には各コースが実施できるよう準備を進める。</p>